



ぎふ労福協

岐阜県労働者福祉協議会 編集発行人／高田 勝之

vol.107

2016.1.1

岐阜市鶴舞町2-6-7
ワークプラザ岐阜内
TEL(058)248-6029
FAX(058)245-2410

【岐阜労福協機関紙】 連合岐阜・東海労働金庫・全労済・岐阜県勤労福祉センター <http://www.gifu-rofuku.jp/>



会長あいさつ

岐阜県労働者福祉協議会
会長 高田 勝之



岐阜県労働者福祉協議会の会員並びに関係者の皆さん、新年明けましておめでとうございます。健やかな新年を迎えられたことと、ご推察申し上げます。また昨年は労福協の諸活動に格段のご理解とご協力を賜りました事、改めて感謝申し上げますとともに、本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて昨年は皆さんにとって、どんな1年であったでしょうか？12月15日に発表がされた、2015年を象徴する文字は『安』でした。9月に国会において、安保関連法案が可決されました。また11月にはフランスでISによる、凄惨なテロ事件が発生しました。日本でもこの先、そのリスクがあると申し上げても過言ではありません。また9月の関東北部を襲った豪雨災害を始めとする数々の自然災害も記憶に新しいところです。これらの事を考えると、『安』は『安心』の『安』ではなく、『不安』の『安』ではないのでしょうか。2016年が少しでも安心をして暮らせる世の中であってほしい！切に願う次第です。

また働く仲間の皆さんにとっても、厳しい1年ではなかったでしょうか。景気が一定の回復をみたと言っても、大手企業が業績回復をただけであり、中小企業の業績は依然として厳しいままではないでしょうか。さらに労働法制の見直しによって、まさに安心をして働くことができなくなりつつあります。連合構成組

織の頑張りで、これ以上の見直し＝改悪を阻止してほしいと思う次第です。

次に東日本大震災の被災地復興についてふれておきたいと思います。震災の発生から本年3月で5年が経過しようとしています。被災地のその後の様子は、未だに多くの方々が避難先での不自由な暮らしを余儀なくされていらっしゃるなど、復興に向けての道のりは遠い！と言わざるをえません。昨年10月に常任幹事会メンバーで福島を視察させていただき、改めてその事を実感しました。特に福島の場合は、時間と資金と人手があれば解決するという問題ではなく、放射能問題によって、先が全く見えない状況となっています。岐阜労福協としては、今後も被災地の復興が叶うその時まで、被災地と被災者の方々に、寄り添っていきたいと思います。関係者の皆さんの深いご理解とご協力をお願い致します。

最後になりますが、今年1年がどんな年になるのか、想像はつきませんが、昨年よりは少しでも明るい話題の多い年になるよう祈るとともに、関係者の皆さんにとって、実り多き年となりますようご祈念申し上げ、新年にあたってのご挨拶と致します。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

福祉社会の充実を目指して県へ要請！



昨年11月13日、労福協と労働福祉事業団体は福祉社会の充実をめざし、岐阜県に対し要請を行いました。

要請内容は、①生活困窮者対策の推進、②奨学金制度の改善、③地方消費者行政の充実、④防災・減災の取組み、⑤フードバンク活動の推進の5項目でした。生活困窮者自立支援制度の実効効果を高めるため関係機関と連携した取組みや、奨学金制度の改善を国に働き掛けること、そして消費者相談窓口の周知と相談員の待遇改善や、防災・減災については、訓練やイベントによる啓発事業と災害時のSNSの民間活用の検討を要請しました。昨年度までは3か月後の2月に全員が再度集まり回答の場を設けていましたが、今年度からは事前に事務局レベルで要請内容を伝え、その場で回答を頂くことになりました。

連帯・協同で 安心・共生の 福祉社会を 創ろう！



神津会長



花井事務局長

中央労福協第62回定期総会 連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう！



中央労福協 第61回定期総会が、昨年11月27日に開催され、2014年～2015年度の活動報告及び2016年～2017年度の活動方針が採択されました。また、役員の変更が行われ、新たに神津会長、花井事務局長が就任されました。活動方針では「連帯」「協同」に基本的価値を置き、東日本大震災地への支援を引き続き進めるとともに、労働組合、協同組合の持つ特性を発揮し、労働福祉運動を展開することを確認しました。

中央労福協は、2009年の結成60周年を契機に、労福協の理念、役割、さらに向こう10年先を展望し、労福協が進むべき方向性を「労福協の理念と2020年ビジョン」という形で共有しました。この間、2020年ビジョンで示した活動

方針、基本目標①国民の共感の得られる社会運動と政策、②地域に根差した活動・ライフサポート、③労働者福祉運動の基盤強化、④共同事業の基盤強化、⑤労働者福祉のウイングの拡大に向けて取り組んできました。2016年～2017年度は2020年ビジョンの折り返し点にあたり、具現化の取り組みを展開します。

第11回顕彰者追悼式を開催！

昨年の10月27日、岐阜公園内に建立された社会貢献顕彰碑「やすらいの碑」において、第11回社会貢献者追悼式をご遺族と共に開催しました。昨年は顕彰者として1名の故人の名前を奉納し合計18名の功績を偲ぶ追悼式となりました。

顕彰委員会を代表して内藤副委員長より挨拶があり、「先人達が残した功績を後世に引継ぐ使命感を改めて感じます。」と役員としての決意の一端を述べられました。

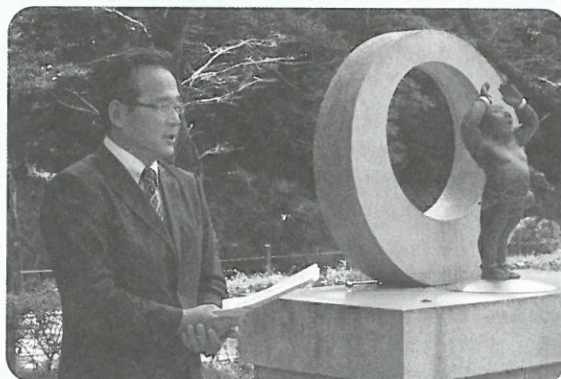
【顕彰碑奉納芳名録】

山崎輝也(UIゼンセン)
下野利雄(連合岐阜)
河合秀夫(UIゼンセン)
川上洋一(情報労連)
浅井永次(自治労)
樋口孝寿(JEC連合)

佐藤邦夫(全労済)
河野辰巳(自治労)
矢野秀広(UIゼンセン)
原 八郎(UIゼンセン)
馬淵武臣(電力総連)
三上 隆(UAゼンセン)

中川 要(運輸労連)
前田幸夫(鉄道退職者の会)
早川 桂(情報労連)

山田栄一(運輸労連)
馬場修三(鉄道退職者の会)
古山正樹(全労済)



チャリティー文化講演会



11月17日に岐阜市文化センターにおいて勤労者チャリティー文化講演会を開催しました。講師は女優で戸板女子短期大学客員教授の「菊池桃子」氏で、テーマは「いつも前を向いて」～学ぶ楽しさ・生きる楽しさ日本の未来に向けて～でした。

菊池さんは昨年「最も美しく輝いた人」に選ばれた話題の人で中日新聞・岐阜新聞などで講演会をPRしたため事前の問合も多く、当日は雨にも関わらず過去最高の来場者になりました。

来場者のチャリティー総額は、73,182円でした。全額を東日本大震災の義援金として11月27日、福島労福協へ寄付しました。



震災地 福島県労福協を 訪ねて!

東日本大震災から4年7カ月が経過し、福島県の復興の状況や今後の課題も含めて視察研修を行うために、10月20日～21日に常任幹事会のメンバーで福島県に訪問しました。岐阜労福協としては、一昨年の宮城県、昨年の岩手県に続いて3回目の被災地の視察となりますが、福島県の場合は津波災害や地震災害に加えて原子力災害という復興に向けての先が見通せない課題があることを改めて認識する2日間の視察となりました。

福島労福協のご協力により、視察ルートの選定や視察地の許可申請、バスや宿泊の手配にいたるまでお世話になり、被災地の視察や福島労福協の役員の方々と懇談会などを実施いたしました。

現地視察では、すべての行程を福島労福協の林事務局長に同行していただき、いわき市から国道6号線を北上し、帰還困難区域の様子や除染現場を視察させていただきました。放射線量の高さから自分たちの家に住めずに避難を余儀なくされる地域があることは知っていましたが、実際にバスで走行してみると脇道はもとより各種店舗の駐車場や住宅の入り口までバリケードで封鎖された街の様子は衝撃の光景でありました。

福島労福協との懇談会では、福島労福協の今泉会長から震災当時の話や現在の復興状況、そして農産物や観光をはじめ様々な風評被害の話をお聞きました。東日本大震災で失ったものの大きさ、復興に向けての課題は計り知れないものがありますが、これを地方の課題と捉えるのではなく国全体の課題とし国民全体が向き合っていく事が大切であると感じました。



第18回 岐阜県労福協チャリティーゴルフ大会

毎年恒例のチャリティーゴルフ大会は、10月9日に美濃市のぎふ美濃ゴルフ倶楽部において、支部代表と労働団体・事業団体の10組38名が参加して開催しました。優勝は飛騨支部、準優勝は土岐支部、三位は西濃支部でした。チャリティー募金38,000円は被災地に届けました。



優勝 飛騨支部



準優勝 土岐支部



三位 西濃支部

第51回 岐阜県勤労者球技大会の結果

ソフトボール県大会は、会場の各務原勤労青少年グラウンドの改修工事により例年より3月前の7月26日に前年優勝と準優勝チームを加えた14チームで行われました。ボウリング県大会は11月15日岐阜市マースーボウルにて前年優勝と準優勝チームを加えて19チームで競い合いました。

優勝 飛騨産業



ソフトボール大会



準優勝 ハウテック

優勝 イビデン



ボウリング大会



準優勝 関ヶ原製作所

ZENROSAI NEWS

謹賀新年



変わりゆくニーズに
変わらない安心をカタチに。

全労済の住まいる共済

(新)火災共済・(新)自然災害共済

風水害等給付金付火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済

TEL 058
274-6031

全労済岐阜県本部の
モバイルサイトは、
こちらのQRコードからどうぞ。



全労済岐阜県本部
岐阜県労働者共済生活協同組合

全労済は、営利を目的としない保障の生協として
共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとり
ある暮らしを助けています。お支払いをおまかせ
いただくと組合員になれば、各種共済をご利用
いただけます。

保障のことなら
全労済

R りょうさん

あけまして
おめでとーございます。

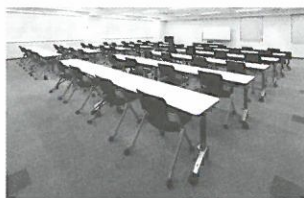
本年もよろしくお願ひ申しあげます。

二〇一六年 元日



ご利用をお待ちしています!

会議・研修・イベントやパーティーなど岐阜市近郊で
計画される時は、「ワークプラザ岐阜」へ
新しく、綺麗で、充実した設備で、料金が安い
「ワークプラザ岐阜」を是非ご利用下さい!!



ワークプラザ岐阜

(社)岐阜県勤労福祉センター

〒500-8163 岐阜県岐阜市鶴舞町2丁目6番地7
TEL.058-245-2411 FAX.058-245-2416

新春のお慶びを申し上げます



東海労働金庫
全労済岐阜県本部
(一社)岐阜県勤労福祉センター

専務理事 三尾 禎一
県本部長 豊田 由二
理事長 高田 勝之